



# 久山中学校だより



R2. 6. 19 第5号

## 《あいさつ運動》 生徒会：朝の活動第2弾！ 生徒会の朝は忙しい！！

生徒会役員の皆さんは、毎朝挨拶運動に取り組んでいます。前回、「朝の落ち葉清掃時に登校してくる生徒の皆さんに掃除をしながら笑顔で挨拶をしています」と紹介をしていました。さらに、落ち葉清掃の片付け後、駆け足で道具を片付け、急いで「心の花エリア」に向かいます。そして、ここでも引き続き登校してくる生徒の皆さんに笑顔で元気よく挨拶で声かけしています。おかげで少しずつではありますが、学校内でも挨拶をする声が増えてきたように感じます。



そういえば・・・「3年前に比べると随分挨拶する生徒が少なくなり、声も小さくなったな」と感じていました。以前は遠くから大きな挨拶の音が聞こえていましたし、学校内外ですれ違うほとんどの生徒が何度でも挨拶をしていました。年々生徒は替わったとしても、久山中学校の良き伝統はぜひ引き継いでいって欲しいと思います。



1年生オリエンテーションでも、生徒会が「いつでも、どこでも、相手の目を見て、笑顔で元気よく挨拶をしましょう」と”久中挨拶”の紹介をしていました。「挨拶は、自分の心を開き、自分の存在を相手に知らせると同時に、相手の存在を認め、受け入れ、『あなたのことを認め大切に思っていますよ』という意思表示です」。その思いや声が相手に伝わらないと意味がありません。朝登校しながら挨拶している皆さんの姿を見てみると、恥ずかしくて小さな声になったり、挨拶しようか、どうしようかな、と自信なさそうな人を見かけます。自信をもって堂々と大きな声で挨拶しましょう。スッキリしますよ！

## 《黙働清掃：頑張ってます！》

久山中の伝統として、黙働清掃に取り組んでいます。時間は昼休みの後の10分間。昼休みは友達と楽しくおしゃべりをしている声が賑やかに聞こえます。しかし、昼休み終了の予鈴（チャイム）が鳴ると、それまで聞こえていた生徒の皆さんの声が、ピタッと無くなりシーンとした状態になります。この瞬間は不思議に感じるほど一瞬で声が聞こえなくなります。その後、生徒の皆さんはそれぞれの掃除場所へ黙って移動しています。この気持ちの切り替えが出来る姿は本当に素晴らしいです。

黙働清掃の目標は、おしゃべりをしたいことやサボりたいという気持ちを「我慢する心」、人から掃除場所を言われるのではなく「自分から見つけ出す力」、相手の声なき声を聞き、相手の思いを受け止める手伝うなど「思いやり・親切心」を育てる時間としています。手早くほうきでゴミを掃き、雑巾の担当は膝をついて己拭きをし、みんなで机の移動をし、次は窓拭きと次々に取り組んでいます。先生が見ていなくても、細かい窓の溝や手洗い場の下まで潜り込んで掃除をするなど、みんな一生懸命に取り組んでいます。学校が建設されて、44年が経ちますが、皆さんのおかげできれいな状態が保たれています。本当によく頑張っている姿に感心しています。

